

平成18年度「専修学校社会人新キャリアアップ教育推進事業」成果報告書

事業名	再就職を希望する女性向け能力拡張プログラム		
法人名	学校法人 桑園学園		
学校名	札幌情報未来専門学校		
代表者	理事長 山口 正雄	担当者 連絡先	小林 仁〔こばやし ひとし〕 TEL 011-231-7085
<p>1. 事業の概要</p> <p>この事業では、就労経験がある女性を対象とし、再就職をさせるための教育プログラムを作成した。</p> <p>教育訓練期間は3ヶ月を想定しカリキュラムを作り、実証講座として1ヶ月間(23日間・138時間)開講し、カリキュラムと教材の精査を行った。また、女性向けであることから、使用する副教材については、内部で作成〔個人情報保護法・労働法・パート労働法〕を行った。また、資格取得として表計算2級(ソフトウェア活用能力認定委員会主催 Excel表計算処理技能認定試験)の受験を希望者に実施した。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>事業の趣旨である女性の再雇用に関して、1ヶ月の実証講座および講座終了1ヶ月で受講生16名中7名の内定を得ている。また、7名の職種は事務系6名、デザイン1名〔デザイン未経験〕であり、目標とする職種で高い内定率を得た。</p> <p>資格合格率も、表計算2級検定11名受験中、合格者10名 合格率90.9%を達成した。</p> <p>②事業により得られた成果</p>			

■女性の再雇用を目的としているため、女性の雇用時、職務遂行時に必要な知識と技術を中心に科目構成を考えた。また、就職対策としての時間も設定した。特に、就職への意識喚起とIT学習に関する意識付けを講演を通して実施した。科目は以下の通り。

■[カリキュラム・時間数は別紙2参照]

■座学(マナー教育 / エンドユーザーコンピューティング/インターネット・LANの基礎/個人情報保護法検定対策/労働と法律/講演)の成果

・座学の講座については、全般的にはじめての内容も多く、専門用語を使わない説明と、事例を多用しての講義を中心に進めていった。科目として、新しい「個人情報保護法」については、特に条文などの解説よりは、職場での事例を紹介しどのような判断をするかを中心に進めていった。特に特記すべきことは、講演での「労働と法律」分野、IT分野からのテーマで実施したが、受講生たちには女性の雇用と保護、法律の関係、IT社会が今後どの方向に向かい、対応しなければならぬかを明示し、就職への良い刺激になったと考える。

・科目の設定は、受講生にとって良い反応を得ている。特に、講演については女性問題の視点から進めており、時間が長時間であったが、非常に盛り上がった講演であった。

・職場での事例を中心に説明しているため、概ね理解しやすいとの反応を得ている。職場経験がある受講生を対象とする場合、本人の経験程度を考えて進めなければ、受講生への不快感が発生することを気をつけたい。

■実習(パソコン操作/ワープロ/表計算/検定対策)の講座

・受講生のスキルがバラバラのため、補助者を中心に実習を進めながら対応した。限られた時間の中で、補助者を入れなければ、中高年の受講生にとっては進度が速すぎたかもしれない。年齢層が広い場合は、実習補助と放課後の開放は必須と考える。

・受講生の反応としては、概ね不満もなかったが、進度の上位者にとっては、基礎的な科目は退屈であり対策が必要であった。

■成果

上記の活動の結果、成果物として以下のドキュメントを作成した。

1.女性向け能力拡張プログラムカリキュラム

2.報告書 100頁

3.副教材 女性向け個人情報保護法・労働法・パートタイマー労働法テキスト103頁 40冊 同テキストCD-ROM 180冊

③今後の活用

今後、4月以降に実施される社会人向け講座において、このカリキュラムを反映し、作成した副教材を利用する予定である。カリキュラムは女性が必要とする各分野の内容を、さらに実践的な内容とし、副テキストも非常に反応が良かったが、今後展開する社会人講座において、さらに内容を精査し指導方法までに踏み込んで効果を挙げたい。また、本学生に対しても個人情報保護法、労働関連法規については、社会人として必要な知識であり展開をする。

④次年度以降における課題・展開

今後の課題として、就職への意欲を喚起する方法と、就職するための個々の障害を取り除く相談窓口などの対応を考えていきたい。女性個々の資質以外の問題で働くことに躊躇しているケースが非常に多い。雇用や育児のための有用な情報を集め提供することで、問題を解決し働く自信や就職への喚起を促せられると考える。また、目的の職種[今回は事務系を目標]に付けない問題は、障害として年齢的な要素はややあるが、事務系については、高率で内定させることができた。これは、講座実施中に、受講生が内定すると周りの受講生にとっても励みになり目標となったことも影響している。今後は、就職する時の障害の排除、自己実現のための目標設定、キャリアカウンセリングによる科学的対応を取り入れたい。また、想定している3ヶ月間で、今回検討したカリキュラム査証してみたいと考える。

3. 事業の実施に関する項目

①キャリアアップ講座の実施

- テーマ 再就職を希望する女性向け能力拡張プログラム
- 講座期間 平成19年1月10日-2月9日 23日間 60分/×6コマ
- 講座対象者 就職経験のある女性を対象とし、年齢制限はなし。健康や育児等で離職し再就職を目指す者。
- 受講生 16名
- 受講生年齢度数 55-59才 2名 35-39才 2名 30-34歳6名 25-29歳4名 20-24才2名
- 実習講座実施場所 札幌情報未来専門学校にて実施
- アンケート調査
 - ・目的 実証講座カリキュラムのニーズ調査、実態調査
 - ・期間 第1回平成18年7月31日-8月2日 第2回平成18年9月4日-9月6日
- 実証講座実施結果
 - ・就職内定者 受講生16名中、3/1現在 就職者7名
 - ・内定職種 事務系5名、インストラクタ1名、デザイン1名
 - ・資格合格率 表計算2級 受験者11名、合格者10名 90.9% (ソフトウェア活用能力認定委員会主催 Excel表計算処理技能認定試験2級)

②その他

- ・この教育プログラムは、単にITスキルの習得により就職を目指すのではなく、女性が就職するときに関わる雇用契約や、その後の職場の作業、待遇、年収による控除の問題を具体的に学ぶカリキュラムとなっている。女性が不利な労働契約を自発的に排除できる内容であり、有用性は高い。
- ・法律の説明は、単に権利や義務を説明するだけでなく、実際の職場での事例を取り上げ説明するなどの工夫をした。
- ・難しいITの専門用語は、避けできるだけ易しく具体的な説明を行った。